

会場案内図



- ① 選手受付 (交通公園講堂前ロータリー)
 - ② 一般来場受付
 - ③ 大会本部 (管理棟2階 第1セミナー室)
 - ④ 開会式会場・バランス走行操縦競技会場
 - ⑤ トライアル走行操縦競技会場
 - ⑥ 不整地走行操縦競技会場
 - ⑦ 傾斜走行操縦(スラローム)競技会場
 - ⑧ 閉会式会場(車庫棟) [雨天時開会式会場]
 - P 駐車場 (一般来場者)
- ※一般来場者の入場は、10月7日は午後1時から、
10月8・9日は午前7時30分からです。
駐車場に限りがあるため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

自動車安全運転センター 安全運転中央研修所までのアクセス

【電車利用】

JR常磐線 勝田駅(東口2番のりば)から茨城交通バスで海浜公園南口行き又は中央研修所行きに乗車、中央研修所バス停で下車

【自動車利用】

常磐自動車道～北関東自動車道～常陸那珂有料道路「ひたち海浜公園IC」

【高速バス利用(東海・ひたちなか ⇄ 東京駅)】

東京駅八重洲南口のりば/ひたちなか・東海線 勝田駅前・原子力機構前行き勝田駅で降車、茨城交通バスに乗り換え

【高速バス利用(日立・ひたちなか・水戸 ⇄ 羽田空港)】

羽田空港/水戸・ひたちなか・日立行き 勝田駅で降車、茨城交通バスに乗り換え



頂点へ

挑む。

第53回



全国白バイ安全運転競技大会

開催地 自動車安全運転センター 安全運転中央研修所 (茨城県ひたちなか市新光町)

2023 10 /
7.8.9
SAT SUN MON



頂点へ挑む。

全国白バイ安全運転競技大会は、白バイ乗務員の運転技能を向上させ、受傷事故の絶無を期すとともにその士気の高揚を図り、もって道路交通の安全の維持に資することを目的として開催するものです。各都道府県警察を代表して本大会に出場する隊員は心・技・体を鍛え抜いた精鋭たちです。狭き門をくぐり抜けて大会参加の座を勝ち取った隊員たちが、頂点を目指して競技に挑みます。

競技日程・競技内容等

TIME SCHEDULE

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第1日目 10/7 SAT							バランス走行操縦競技 (女性の部) 14:20 - 15:20			
第2日目 10/8 SUN		開会式 9:45 - 10:10		バランス走行操縦競技 (男性の部) 10:50 - 12:40				トライアル走行操縦競技 14:10 - 16:45		
第3日目 10/9 MON	不整地走行操縦競技 8:15 - 10:00			傾斜走行操縦(スラローム)競技 (男性の部) (女性の部) 11:15 - 14:25					閉会式 16:15 - 16:30	



第52回大会 個人総合優勝



【男性の部】
愛媛県警察
中川 昂大 巡査長



【女性の部】
茨城県警察
黒崎 琴己 巡査長

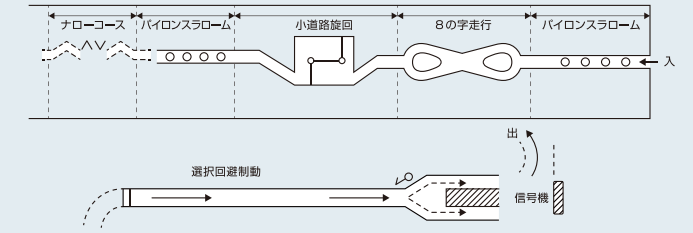
競技種目

1. バランス走行操縦競技

白バイ乗務員は、危険の多い道路において、円滑な交通の流れを確保し、善良なドライバーの保護を行うとともに、交通の安全を脅かすような危険、無謀運転に対しては厳正に指導取締りを行うことを主な任務としています。このため、白バイ乗務員は、あらゆる道路形状においても常にバランスを保った状態で走行できる操縦技術が要求されます。

競技内容

白バイの運転において最も大切なバランスの技術を、パイロンスラローム、8の字走行、小道路旋回、ナローコース、回避制動(一定の速度まで加速して直進し、回避路の直前で点灯した信号に従って回避路を選択し、指定位置で停止させるもの。)等によって競うものです。審査は、コース逸脱、落輪、足つき、転倒、障害物接触、分岐点突破、指定回避路の誤選択、一時不停止等を減点対象として採点を行います。



2. トライアル走行操縦競技

白バイ乗務員は、常に変化する交通環境の中で、瞬間的に最適な判断と行動を求められるため、各種の訓練を行っていますが、トライアル走行操縦は、これら訓練の中でも二輪車運転の応用となるものです。これは、予測されない危険な状況に遭遇した場合に、それに適した判断とマシン操作ができるようにすることにより、人車の安全なバランス保持、微妙なコントロールの仕方及び正確な走路維持等の高度な走行技術の向上を図るものです。



競技内容

スピードを競うものではなく、審査は、災害現場における活動を想定し、自然の地形の中に設定したセクションを走行させ、足つき・転倒等を減点対象として採点を行います。

3. 不整地走行操縦競技

白バイ乗務員は、運転走行中様々な事態に遭遇しますが、これを克服し、安全・的確かつ機敏に措置し得る高度な操縦技能が必要です。そして、それはまさに、技術、体力、気力が一体となったものでなければなりません。

競技内容

災害現場における活動を想定して、不整地にコースを設定し、安全運転走行の技術を競うものです。このような場所をできるだけ速く、しかも安全に走行する場合は、車と人間が一体となっていることが大切であり、乗車姿勢、ハンドル操作、ニーグリップ、アクセルワーク、ブレーキ等総合的な操縦技能を競います。審査は、指定された不整地コースを走行し、コースオーバー、パイロンタッチ、転倒等を減点対象とし、コース一周の走行タイムによって採点を行います。



4. 傾斜走行操縦(スラローム)競技

白バイ乗務員は、白バイを手足のように駆使して、交通の指導取締りに当たらなければなりません。このため極めて高度な運転技能が要求されることから、技術の向上を目標に、訓練を重ねています。

競技内容

指定されたS型、クランク型複合の曲線コースを正確に走行する技能を競うもので、バランス、乗車姿勢、ブレーキの使い方、アクセルワーク、コーナーのとり方など極めて高度な運転技能を競います。審査は、コース逸脱、落輪、パイロンタッチ等を減点対象として採点を行います。

